

「やまぐち森林づくり県民税」
見直しに係るアンケート調査報告書
(県民意見交換会)

平成21年9月

山口県
森林企画課

(問い合わせ先)
山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班
TEL;083-933-3464 FAX;083-933-3479
E-mail: a17700@pref.yamaguchi.lg.jp

目次

調査の概要	-----	1
1 調査の目的	-----	1
2 調査設計	-----	1
3 有効回収数（回収率）	-----	1
4 集計方法	-----	1
調査結果	-----	2
1 意見交換会の内容	-----	2
2 森林の持つ多面的機能の認知度	-----	4
3 県民のくらしや産業を支える森林の役割の認知度	-----	6
4 森林の現状の認知度	-----	8
5 豊かな森林を引き継いでいくことの必要性	-----	10
6 森林づくり県民税の認知度	-----	12
7 森林づくり県民税の事業内容の認知度	-----	14
8 森林づくり県民税による荒廃森林の再生の取組みの必要性	-----	16
9 森林づくり県民税の事業効果	-----	18
10 税制度の継続	-----	20
11 税制度の継続への反対理由	-----	23
12 税制度の継続後、引き続き実施すべき事業	-----	24
13 税制度の継続後、新たに取り組むべき事業	-----	25
14 税制度の継続後の負担額	-----	26
15 税制度の継続後の期間	-----	27
16 その他意見・要望	-----	28
17 参考（属性）	-----	29
調査票	-----	31

調査の概要

調査の概要

1 調査の目的

やまぐち森林づくり県民税の見直しに当たり、現行制度の継続の是非や、森林づくりについての新たなニーズを把握し、今後のあり方を検討するため、県民意見交換会の参加者を対象としたアンケート調査を実施する。

2 調査設計

- (1) 対象地域；山口県全域
- (2) 対象者；県内8圏域で開催される意見交換会の参加者
- (3) 対象者数；参加者 887人（8会場）
- (4) 実施期間；平成21年（2009年）7月13日（月）～7月24日（金）
- (5) 調査方法；意見交換会会場で配布、回収。

3 有効回収数（回収率）

798人（90 $\frac{1}{10}$ ）

4 集計方法

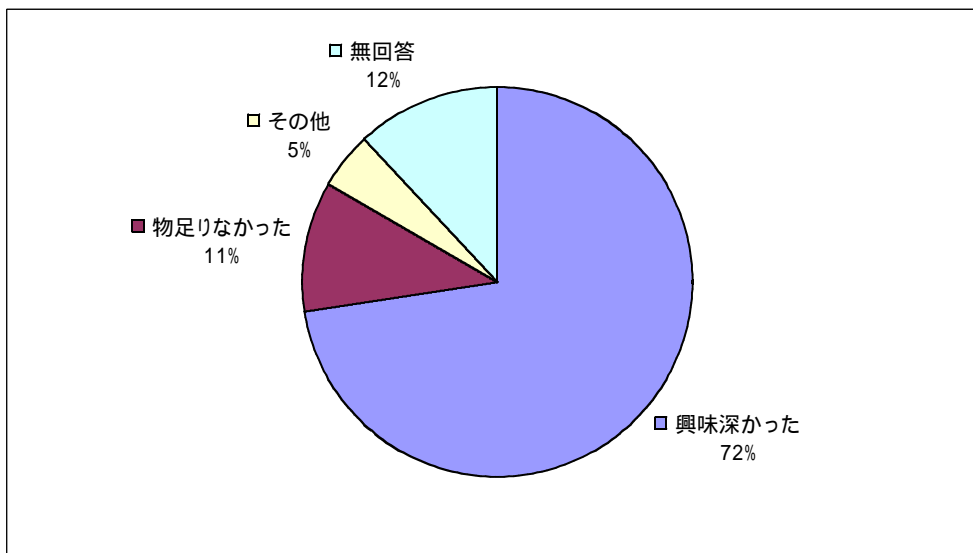
- (1) 集計に際しては、設問の条件を満たしていない回答はすべて無効とした。
（単一回答で複数回答している場合や、先行する設問の回答により回答者が条件づけられている時に、対象者以外が回答した場合など）
- (2) 本文及び図中に示した調査結果の数値は、百分比で示してある。これらの数値は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、全項目の回答比率が100 $\frac{1}{10}$ とならない場合がある。

調查結果

調査結果

Q 1 本日の意見交換会の内容はいかがでしたか。

【意見交換会】



参加者の72%が「興味深かった」と回答している。

「興味深かった」と回答した人の理由

森林の現状や県民税の取組状況が理解できた。

県民税事業の効果が数値が分かりやすく示された。

会場いっぱいの参加者から活発な意見が出されていた。など

「物足りなかった」と回答した人の理由

意見交換の時間が足りなかった。

説明が数値ばかりで理解できなかった。

事業費の具体的な内容が知りたかった。など

Q 1 の属性別デ - タは下表のとおり。

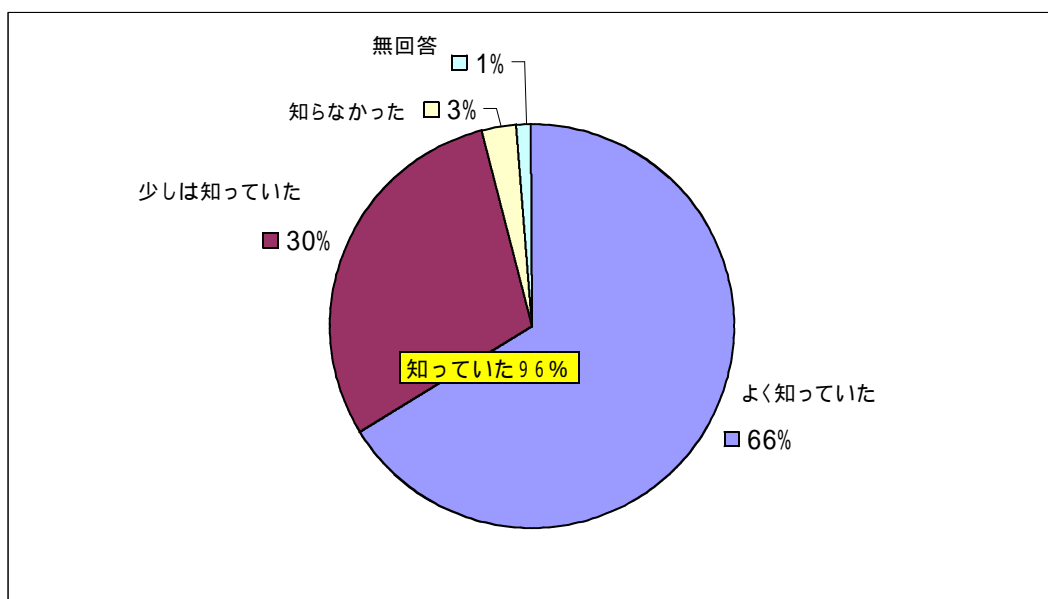
なお、属性別（*）に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）										
区 分		回答数	興味深かった		物足りなかった		その他		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	579	73%	86	11%	37	5%	96	12%
性別	男性	557	397	71%	72	13%	25	4%	63	11%
	女性	185	146	79%	9	5%	9	5%	21	11%
	無回答	56	38	68%	5	9%	3	5%	10	18%
年代別	20歳代	28	22	79%	3	11%	1	4%	2	7%
	30歳代	69	62	90%	5	7%	0	0%	3	4%
	40歳代	86	63	73%	8	9%	3	3%	12	14%
	50歳代	157	118	75%	18	11%	8	5%	13	8%
	60歳代	249	171	69%	34	14%	11	4%	33	13%
	70歳以上	181	128	71%	12	7%	12	7%	29	16%
	無回答	28	19	68%	4	14%	2	7%	3	11%
職業別	農林漁業	223	156	70%	27	12%	11	5%	29	13%
	商工・サ - ビス業	31	20	65%	5	16%	3	10%	3	10%
	管理職	56	42	75%	3	5%	1	2%	10	18%
	事務職・技術職	198	162	82%	17	9%	5	3%	14	7%
	技能職・労務職	15	9	60%	2	13%	0	0%	4	27%
	主婦	92	72	78%	2	2%	6	7%	12	13%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	83	63%	24	18%	10	8%	15	11%
	無回答	50	34	68%	6	12%	1	2%	9	18%
圏域別	岩国	72	49	68%	5	7%	5	7%	13	18%
	柳井	54	43	80%	6	11%	2	4%	3	6%
	周南	98	67	68%	5	5%	9	9%	17	17%
	山口・防府	146	117	80%	16	11%	3	2%	10	7%
	宇部・小野田	132	96	73%	21	16%	7	5%	8	6%
	下関	99	60	61%	19	19%	3	3%	17	17%
	長門	81	60	74%	7	9%	5	6%	9	11%
	萩	70	53	76%	3	4%	2	3%	12	17%
	無回答	61	42	69%	8	13%	1	2%	10	16%

（*）属性；（個人；性別、年齢別、職業別、居住地別）（企業；業種別、資本金別、所在地別）に回答の傾向を把握するためのもの。

Q 2 あなたは、森林が豊かな水やきれいな空気、災害から県土を守る機能、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収などの役割（これらを総称して「森林の持つ多面的な機能」とよばれています）を果たしていることを知っていましたか。

【意見交換会】



森林の持つ多面的機能については、「よく知っていた」と「少し知っていた」を合わせた、96%が「知っていた」と回答している。

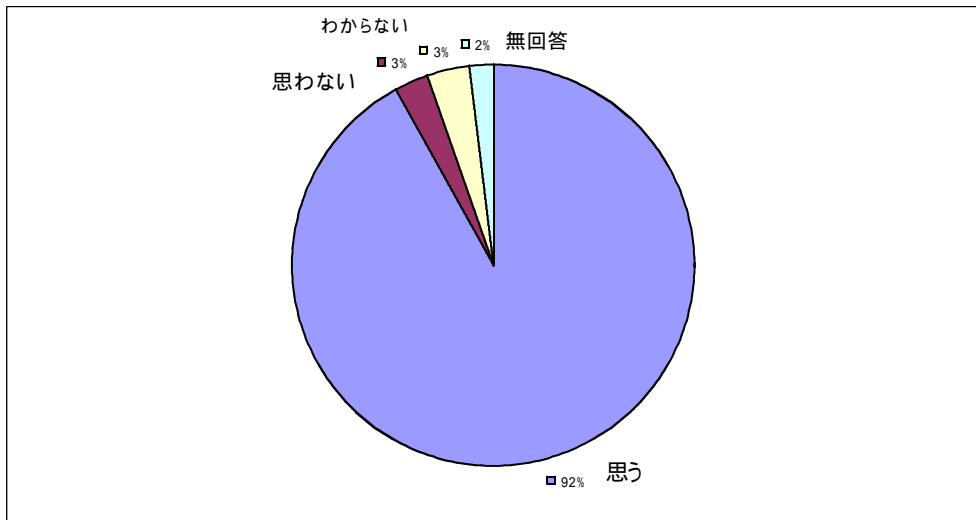
Q 2 の属性別データは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）								
区 分		回答数	知っていた		知らなかった		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	767	96%	23	3%	8	1%
性 別	男性	557	542	97%	10	2%	5	1%
	女性	185	172	93%	11	6%	2	1%
	無回答	56	53	95%	2	4%	1	2%
年 代 別	20歳代	28	25	89%	1	4%	2	7%
	30歳代	69	66	96%	0	0%	3	4%
	40歳代	86	88	102%	0	0%	0	0%
	50歳代	157	135	86%	8	5%	14	9%
	60歳代	248	242	98%	4	2%	2	1%
	70歳以上	181	171	94%	6	3%	4	2%
	無回答	28	27	96%	0	0%	1	4%
職 業 別	農林漁業	223	219	98%	3	1%	1	0%
	商工・サ - ビス業	31	29	94%	2	6%	0	0%
	管理職	56	55	98%	0	0%	1	2%
	事務職・技術職	198	190	96%	8	4%	0	0%
	技能職・労務職	15	15	100%	0	0%	0	0%
	主婦	92	84	91%	6	7%	2	2%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	127	96%	3	2%	2	2%
	無回答	50	47	94%	1	2%	2	4%
圏 域 別	岩国	72	70	97%	2	3%	0	0%
	柳井	54	55	102%	2	4%	0	0%
	周南	98	95	97%	2	2%	1	1%
	山口・防府	146	141	97%	4	3%	1	1%
	宇部・小野田	132	125	95%	5	4%	2	2%
	下関	99	95	96%	2	2%	2	2%
	長門	81	80	99%	1	1%	0	0%
	萩	70	67	96%	3	4%	0	0%
	無回答	61	58	95%	1	2%	2	3%

Q 3 森林は、豊かな自然、県民のくらしや産業を支える大きな役割を果たしていると思いますか。

【意見交換会】



92%が、森林は豊かな自然、県民のくらしを支える大きな役割を果たしている「思う」と回答している。

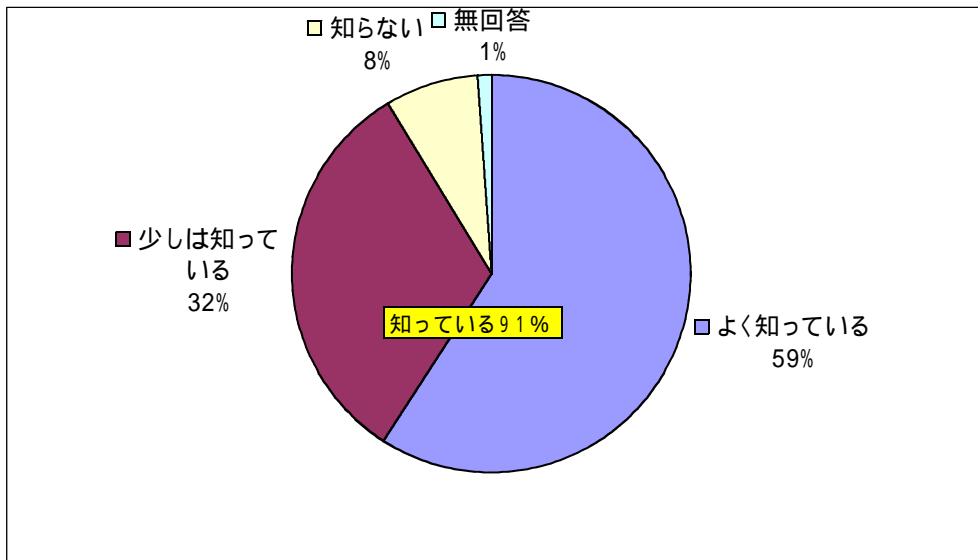
Q3の属性別データは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）										
区 分		回答数	思う		思わない		わからない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	734	92%	22	3%	26	3%	16	2%
性 別	男性	557	512	92%	18	3%	18	3%	9	2%
	女性	185	169	91%	4	2%	6	3%	6	3%
	無回答	56	53	95%	0	0%	2	4%	1	2%
年 代 別	20歳代	28	17	61%	10	36%	1	4%	0	0%
	30歳代	69	31	45%	34	49%	4	6%	0	0%
	40歳代	86	82	95%	2	2%	2	2%	0	0%
	50歳代	157	144	92%	2	1%	8	5%	3	2%
	60歳代	248	222	90%	13	5%	6	2%	7	3%
	70歳以上	181	169	93%	3	2%	4	2%	5	3%
	無回答	28	25	89%	1	4%	1	4%	1	4%
職 業 別	農林漁業	223	209	94%	6	3%	5	2%	3	1%
	商工・サ - ビス業	31	27	87%	3	10%	1	3%	0	0%
	管理職	56	54	96%	1	2%	0	0%	1	2%
	事務職・技術職	198	183	92%	5	3%	10	5%	0	0%
	技能職・労務職	15	13	87%	0	0%	2	13%	0	0%
	主婦	92	85	92%	1	1%	2	2%	4	4%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	117	89%	5	4%	4	3%	5	4%
	無回答	50	44	88%	1	2%	2	4%	3	6%
圏 域 別	岩国	72	69	96%	2	3%	1	1%	0	0%
	柳井	54	52	96%	0	0%	2	4%	0	0%
	周南	98	86	88%	3	3%	3	3%	6	6%
	山口・防府	146	134	92%	6	4%	3	2%	3	2%
	宇部・小野田	132	121	92%	4	3%	5	4%	2	2%
	下関	99	94	95%	2	2%	2	2%	1	1%
	長門	81	76	94%	3	4%	1	1%	1	1%
	萩	70	65	93%	1	1%	4	6%	0	0%
	無回答	61	51	84%	2	3%	5	8%	3	5%

Q 4 あなたは県土面積の7割を超える森林の中で、スギやヒノキの人工林が荒廃し、森林の持っている多面的な機能が発揮されにくくなっていること、また、生い茂った竹林によって生活面での支障が生じていることを知っていますか。

【意見交換会】



山口県の森林の現状について、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた、91%が「知っている」と回答している。

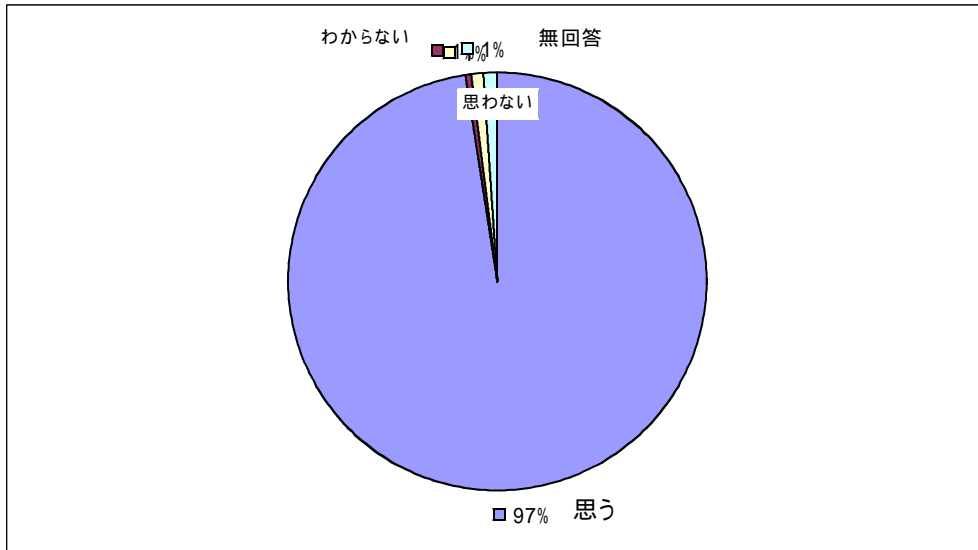
Q 4 の属性別デ - タは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）								
区 分		回答数	知っている		知らない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	730	91%	60	8%	8	1%
性別	男性	557	530	95%	24	4%	3	1%
	女性	185	148	80%	33	18%	4	2%
	無回答	56	52	93%	3	5%	1	2%
年代別	20歳代	28	25	89%	3	11%	0	0%
	30歳代	69	54	78%	15	22%	0	0%
	40歳代	86	81	94%	5	6%	0	0%
	50歳代	157	144	92%	13	8%	0	0%
	60歳代	248	230	93%	14	6%	4	2%
	70歳以上	181	169	93%	9	5%	3	2%
	無回答	28	26	93%	1	4%	1	4%
職業別	農林漁業	223	216	97%	6	3%	1	0%
	商工・サ - ビス業	31	29	94%	2	6%	0	0%
	管理職	56	53	95%	3	5%	0	0%
	事務職・技術職	198	173	87%	25	13%	0	0%
	技能職・労務職	15	14	93%	1	7%	0	0%
	主婦	92	79	86%	11	12%	2	2%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	121	92%	9	7%	1	1%
	無回答	50	43	86%	3	6%	4	8%
圏域別	岩国	72	67	93%	5	7%	0	0%
	柳井	54	51	94%	3	6%	0	0%
	周南	98	88	90%	8	8%	2	2%
	山口・防府	146	135	92%	11	8%	0	0%
	宇部・小野田	132	119	90%	13	10%	0	0%
	下関	99	91	92%	7	7%	1	1%
	長門	81	76	94%	4	5%	1	1%
	萩	70	64	91%	4	6%	2	3%
	無回答	61	55	90%	4	7%	2	3%

Q 5 荒廃した森林や生い茂った竹林などを整備して、将来に向けて豊かな森林を引き継いでいくことが必要と思いますか。

【意見交換会】



97%が、将来に向けて豊かな森林を引き継いでいくことが必要と回答している。

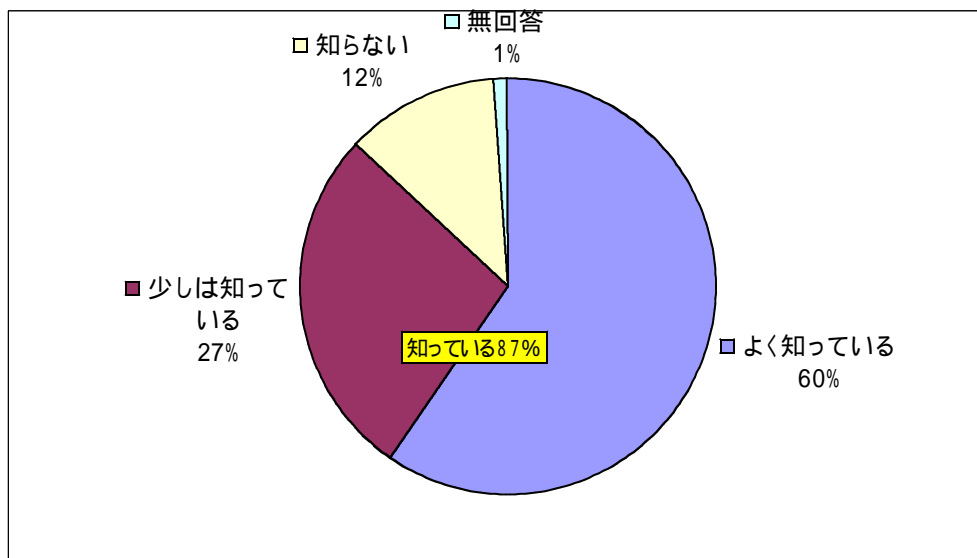
Q 5 の属性別データは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）										
区 分		回答数	思う		思わない		わからない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	777	97%	5	1%	8	1%	8	1%
性 別	男性	557	545	98%	3	1%	6	1%	3	1%
	女性	185	178	96%	2	1%	1	1%	4	2%
	無回答	56	54	96%	0	0%	1	2%	1	2%
年 代 別	20歳代	28	28	100%	0	0%	0	0%	0	0%
	30歳代	69	68	99%	0	0%	1	1%	0	0%
	40歳代	86	81	94%	2	2%	3	3%	0	0%
	50歳代	157	155	99%	0	0%	2	1%	0	0%
	60歳代	248	241	97%	2	1%	1	0%	4	2%
	70歳以上	181	177	98%	1	1%	0	0%	3	2%
	無回答	28	26	93%	0	0%	1	4%	1	4%
職 業 別	農林漁業	223	221	99%	1	0%	0	0%	1	0%
	商工・サ - ビス業	31	30	97%	0	0%	1	3%	0	0%
	管理職	56	56	100%	0	0%	0	0%	0	0%
	事務職・技術職	198	192	97%	2	1%	4	2%	0	0%
	技能職・労務職	15	14	93%	0	0%	1	7%	0	0%
	主婦	92	87	95%	2	2%	0	0%	3	3%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	130	98%	0	0%	1	1%	1	1%
	無回答	50	46	92%	0	0%	1	2%	3	6%
圏 域 別	岩国	72	72	100%	0	0%	0	0%	0	0%
	柳井	54	54	100%	0	0%	0	0%	0	0%
	周南	98	95	97%	0	0%	0	0%	3	3%
	山口・防府	146	142	97%	1	1%	3	2%	0	0%
	宇部・小野田	132	128	97%	3	2%	1	1%	0	0%
	下関	99	97	98%	0	0%	1	1%	1	1%
	長門	81	79	98%	1	1%	1	1%	0	0%
	萩	70	67	96%	0	0%	1	1%	2	3%
	無回答	61	58	95%	0	0%	1	2%	2	3%

Q 6 山口県では、荒廃した森林を再生することを目的とした「やまぐち森林づくり県民税」が導入されています。あなたは、このアンケート調査の前に「やまぐち森林づくり県民税」のことを知っていましたか。

【意見交換会】



「やまぐち森林づくり県民税」の導入について、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた87%が「知っている」と回答している。

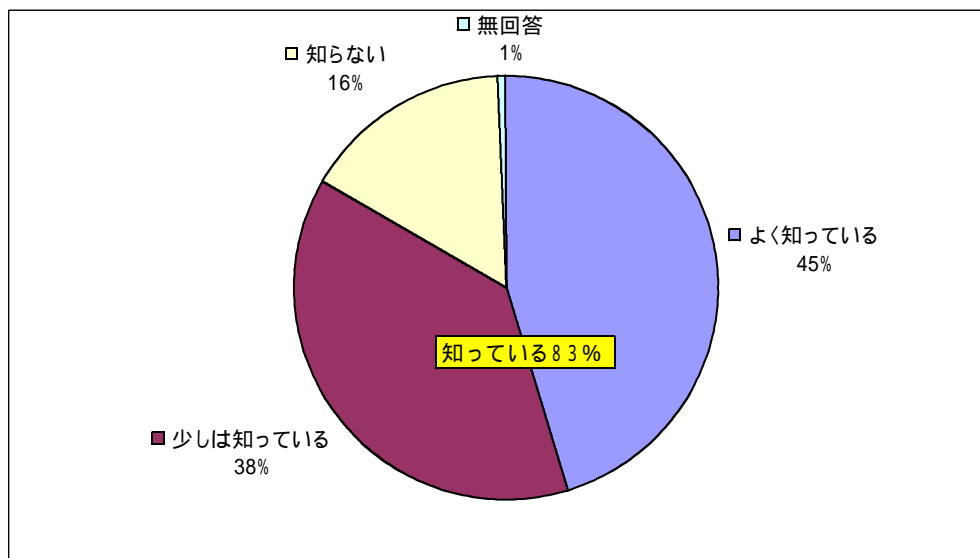
Q6の属性別データは下表のとおり。

性別の女性67%及び、職業別の主婦66%の認知度が低くなっている。

【属性】（意見交換会）								
区 分		回答数	知っている		知らない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	693	87%	97	12%	8	1%
性別	男性	557	518	93%	37	7%	2	0%
	女性	185	124	67%	56	30%	5	3%
	無回答	56	51	91%	4	7%	1	2%
年代別	20歳代	28	22	79%	6	21%	0	0%
	30歳代	69	58	84%	11	16%	0	0%
	40歳代	86	73	85%	13	15%	0	0%
	50歳代	157	133	85%	24	15%	0	0%
	60歳代	248	212	85%	33	13%	3	1%
	70歳以上	181	168	93%	9	5%	4	2%
	無回答	28	26	93%	1	4%	1	4%
職業別	農林漁業	223	211	95%	10	4%	2	1%
	商工・サ・ビス業	31	31	100%	0	0%	0	0%
	管理職	56	46	82%	10	18%	0	0%
	事務職・技術職	198	164	83%	34	17%	0	0%
	技能職・労務職	15	14	93%	1	7%	0	0%
	主婦	92	61	66%	27	29%	4	4%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	123	93%	8	6%	0	0%
	無回答	50	41	82%	7	14%	2	4%
圏域別	岩国	72	62	86%	9	13%	1	1%
	柳井	54	45	83%	9	17%	0	0%
	周南	98	83	85%	14	14%	1	1%
	山口・防府	146	135	92%	11	8%	0	0%
	宇部・小野田	132	103	78%	28	21%	1	1%
	下関	99	88	89%	10	10%	1	1%
	長門	81	75	93%	6	7%	0	0%
	萩	70	67	96%	1	1%	2	3%
	無回答	61	58	95%	1	2%	2	3%

Q7 「やまぐち森林づくり県民税に係るアンケートのお願い」で、森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための事業をお示ししています。あなたは、このような取り組みが進めていることを知っていましたか。

【意見交換会】



森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための事業を「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた83%が、「知っている」と回答している。

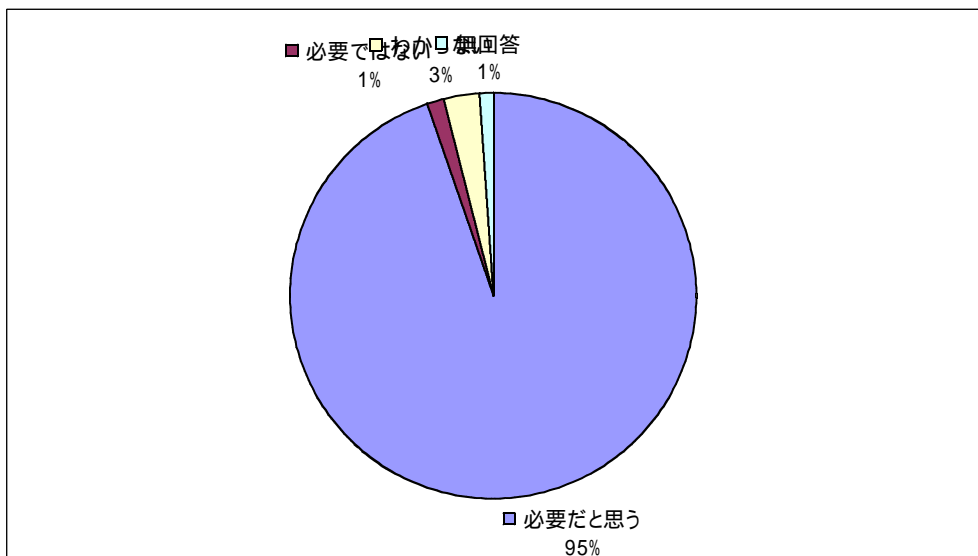
Q7の属性別データは下表のとおり。

性別の女性61%及び、職業別の主婦59%の認知度が低くなっている。

【属性】（意見交換会）								
区 分		回答数	知っている		知らない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	664	83%	130	16%	4	1%
性別	男性	557	502	90%	55	10%	0	0%
	女性	185	112	61%	71	38%	2	1%
	無回答	56	50	89%	4	7%	2	4%
年代別	20歳代	28	20	71%	8	29%	0	0%
	30歳代	69	55	80%	14	20%	0	0%
	40歳代	86	68	79%	18	21%	0	0%
	50歳代	157	124	79%	33	21%	0	0%
	60歳代	248	209	84%	37	15%	2	1%
	70歳以上	181	161	89%	19	10%	1	1%
	無回答	28	26	93%	1	4%	1	4%
職業別	農林漁業	223	209	94%	13	6%	1	0%
	商工・サ・ビス業	31	28	90%	3	10%	0	0%
	管理職	56	46	82%	10	18%	0	0%
	事務職・技術職	198	151	76%	47	24%	0	0%
	技能職・労務職	15	14	93%	1	7%	0	0%
	主婦	92	54	59%	37	40%	1	1%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	118	89%	13	10%	0	0%
	無回答	50	42	84%	6	12%	2	4%
圏域別	岩国	72	60	83%	12	17%	0	0%
	柳井	54	44	81%	0	0%	0	0%
	周南	98	80	82%	17	17%	1	1%
	山口・防府	146	127	87%	19	13%	0	0%
	宇部・小野田	132	94	71%	38	29%	0	0%
	下関	99	84	85%	14	14%	1	1%
	長門	81	73	90%	7	9%	1	1%
	萩	70	63	90%	7	10%	0	0%
	無回答	61	57	93%	3	5%	1	2%

Q 8 森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための取り組みをどのように思いますか。

【意見交換会】



森林づくり県民税による荒廃森林の再生への取り組みについて、95%が「必要だと思う」と回答している。

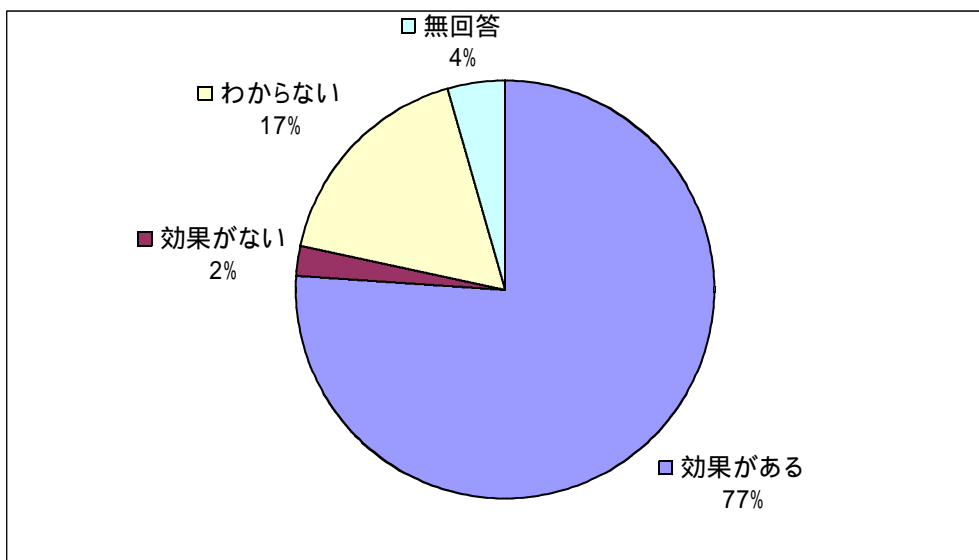
Q 8 の属性別デ - タは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）										
区 分		回答数	必要だと思う		必要ではない		わからない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	756	95%	11	1%	23	3%	8	1%
性別	男性	557	532	96%	10	2%	12	2%	3	1%
	女性	185	171	92%	1	1%	9	5%	4	2%
	無回答	56	53	95%	0	0%	2	4%	1	2%
年代別	20歳代	28	27	96%	0	0%	1	4%	0	0%
	30歳代	69	62	90%	2	3%	5	7%	0	0%
	40歳代	86	79	92%	2	2%	5	6%	0	0%
	50歳代	157	149	95%	3	2%	3	2%	2	1%
	60歳代	248	236	95%	3	1%	5	2%	4	2%
	70歳以上	181	176	97%	1	1%	3	2%	1	1%
	無回答	28	26	93%	0	0%	1	4%	1	4%
職業別	農林漁業	223	219	98%	1	0%	2	1%	1	0%
	商工・サ - ビス業	31	30	97%	0	0%	1	3%	0	0%
	管理職	56	55	98%	1	2%	0	0%	0	0%
	事務職・技術職	198	178	90%	5	3%	13	7%	2	1%
	技能職・労務職	15	15	100%	0	0%	0	0%	0	0%
	主婦	92	87	95%	1	1%	3	3%	1	1%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	126	95%	2	2%	2	2%	2	2%
	無回答	50	45	90%	1	2%	2	4%	2	4%
圏域別	岩国	72	69	96%	3	4%	0	0%	0	0%
	柳井	54	53	98%	0	0%	0	0%	1	2%
	周南	98	92	94%	3	3%	2	2%	1	1%
	山口・防府	146	134	92%	2	1%	9	6%	1	1%
	宇部・小野田	132	124	94%	1	1%	5	4%	2	2%
	下関	99	96	97%	0	0%	2	2%	1	1%
	長門	81	77	95%	2	2%	1	1%	1	1%
	萩	70	68	97%	0	0%	2	3%	0	0%
	無回答	61	57	93%	1	2%	2	3%	1	2%

Q 9 「やまぐち森林づくり県民税に係るアンケートのお願い」では、森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための事業の効果をお示ししています。あなたは、県民税関連事業の実施は効果があったと思いますか。

【意見交換会】



県民税関連事業の実施について、77%が「効果がある」と回答している。

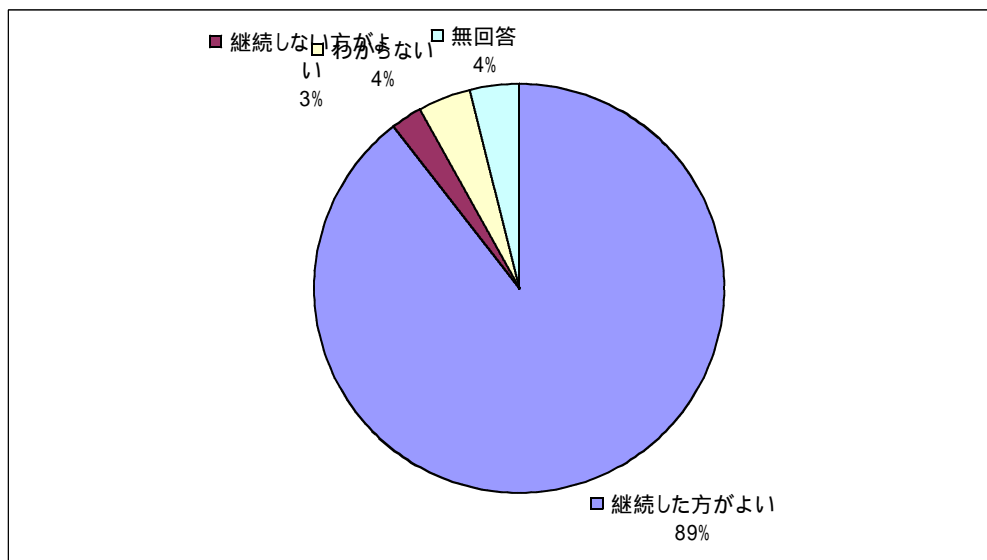
Q 9 の属性別データは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

【属性】（意見交換会）										
区 分		回答数	効果がある		効果がない		わからない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	607	76%	17	2%	139	17%	35	4%
性別	男性	557	432	78%	13	2%	93	17%	19	3%
	女性	185	132	71%	3	2%	38	21%	12	6%
	無回答	56	43	77%	1	2%	8	14%	4	7%
年代別	20歳代	28	22	79%	0	0%	6	21%	0	0%
	30歳代	69	49	71%	1	1%	19	28%	0	0%
	40歳代	86	71	83%	0	0%	13	15%	2	2%
	50歳代	157	112	71%	5	3%	34	22%	6	4%
	60歳代	248	193	78%	5	2%	33	13%	17	7%
	70歳以上	181	138	76%	6	3%	30	17%	7	4%
	無回答	28	21	75%	0	0%	4	14%	3	11%
職業別	農林漁業	223	184	83%	3	1%	26	12%	10	4%
	商工・サ・ビス業	31	20	65%	1	3%	9	29%	1	3%
	管理職	56	44	79%	4	7%	7	13%	1	2%
	事務職・技術職	198	150	76%	3	2%	42	21%	3	2%
	技能職・労務職	15	11	73%	0	0%	4	27%	0	0%
	主婦	92	65	71%	2	2%	18	20%	7	8%
	学生	0	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	無職	132	97	73%	4	3%	24	18%	7	5%
	無回答	50	35	70%	0	0%	9	18%	6	12%
圏域別	岩国	72	57	79%	0	0%	13	18%	2	3%
	柳井	54	39	72%	1	2%	12	22%	2	4%
	周南	98	79	81%	5	5%	9	9%	5	5%
	山口・防府	146	108	74%	5	3%	26	18%	7	5%
	宇部・小野田	132	94	71%	4	3%	27	20%	7	5%
	下関	99	79	80%	0	0%	18	18%	2	2%
	長門	81	65	80%	1	1%	11	14%	4	5%
	萩	70	52	74%	1	1%	13	19%	4	6%
	無回答	61	45	74%	0	0%	13	21%	3	5%

Q10 荒廃した人工林や生い茂った竹林がまだ多くあります。山口県は、効果大きい森林づくり県民税制度を継続して森林の再生を続けたいと考えていますが、あなたはこの取り組みをどのように思いますか。

【意見交換会】



「やまぐち森林づくり県民税」制度の継続について、89%が「継続した方がよい」と回答している。

次に、「やまぐち森林づくり県民税」の継続について、クロス集計を行った。

「森林の現状の認知度」と「税制度の継続について」

森林の現状についての認知度が高いほど、継続に対しての理解を示している。

	森林現状の認知度		税制度の継続について								
			継続した方がよい		継続しない方がよい		わからない		無回答		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
意見交換会	よく知っている	473	59%	429	91%	11	2%	17	4%	16	3%
	少し知っている	257	32%	232	90%	8	3%	9	4%	8	3%
	知らない	60	8%	48	80%	2	3%	6	10%	4	7%
	無回答	8	1%	4	50%	0	0%	0	0%	4	50%
	計	798	100%	713	89%	21	3%	32	4%	32	4%

「税制度の認知度」と「税制度の継続について」

税制度の認知度が高いほど、継続に対しての理解を示している。

	税制度の認知度		税制度の継続について								
			継続した方がよい		継続しない方がよい		わからない		無回答		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
意見交換会	よく知っている	475	60%	432	91%	12	3%	13	3%	18	4%
	少し知っている	218	27%	192	88%	6	3%	13	6%	7	3%
	知らない	97	12%	84	87%	3	3%	6	6%	4	4%
	無回答	8	1%	5	63%	0	0%	0	0%	3	38%
	計	798	100%	713	89%	21	3%	32	4%	32	4%

「税事業の効果」と「税制度の継続について」

税事業の「効果がある」と回答した人は、税制度について「継続した方がよい」と回答している割合が96%と高くなっている。

また、税事業の「効果がない」と回答した人でも53%が、税制度について「継続した方がよい」と回答している。

更に、税事業の効果が「わからない」と回答した人は71%が、税制度の継続について「継続した方がよい」と回答している。

	事業効果		税制度の継続について								
			継続した方がよい		継続しない方がよい		わからない		無回答		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
意見交換会	効果がある	607	76%	584	96%	6	1%	7	1%	10	2%
	効果がない	17	2%	9	53%	4	24%	0	0%	4	24%
	わからない	139	17%	98	71%	10	7%	24	17%	7	5%
	無回答	35	4%	22	63%	1	3%	1	3%	11	31%
	計	798	100%	713	89%	21	3%	32	4%	32	4%

Q10の属性別データは下表のとおり。

なお、属性別に大きな特徴は認められない。

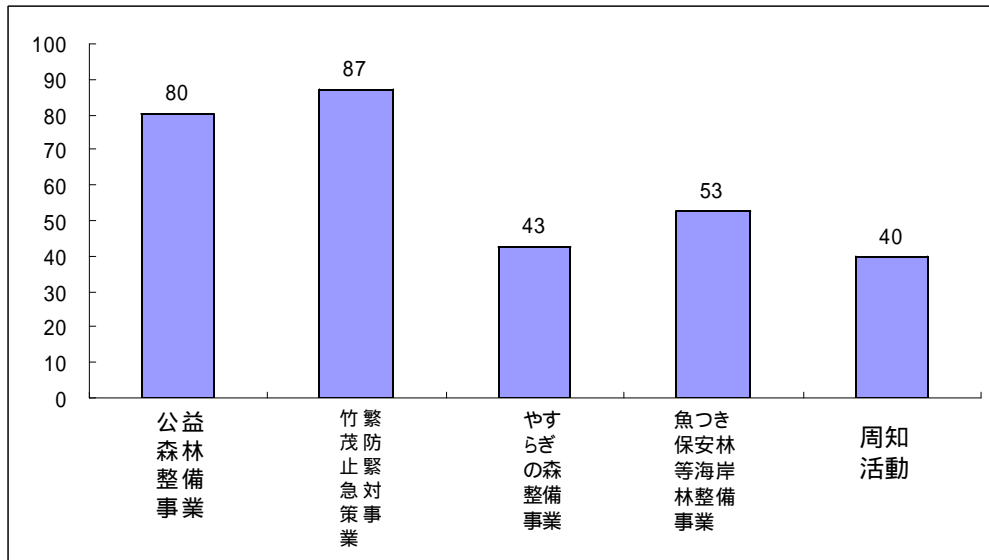
【属性】（意見交換会）										
区 分		回答数	継続した方がよい		継続しない方がよい		わからない		無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数		798	713	89%	21	3%	32	4%	32	4%
性 別	男性	557	506	91%	19	3%	19	3%	13	2%
	女性	185	164	89%	1	1%	9	5%	11	6%
	無回答	56	43	77%	1	2%	4	7%	8	14%
年 代 別	20歳代	28	27	96%	1	4%	0	0%	0	0%
	30歳代	69	64	93%	2	3%	3	4%	0	0%
	40歳代	86	78	91%	3	3%	5	6%	0	0%
	50歳代	157	141	90%	6	4%	5	3%	5	3%
	60歳代	248	229	92%	4	2%	5	2%	10	4%
	70歳以上	181	153	85%	4	2%	12	7%	12	7%
	無回答	28	20	71%	1	4%	2	7%	5	18%
職 業 別	農林漁業	223	205	92%	4	2%	7	3%	7	3%
	商工・サ・ピス業	31	28	90%	0	0%	3	10%	0	0%
	管理職	56	51	91%	1	2%	2	4%	2	4%
	事務職・技術職	198	178	90%	10	5%	8	4%	2	1%
	技能職・労務職	15	15	100%	0	0%	0	0%	0	0%
	主婦	92	82	89%	1	1%	4	4%	5	5%
	学生	0	0	0%		0%	0	0%	0	0%
	無職	132	114	86%	3	2%	4	3%	11	8%
	無回答	50	39	78%	2	4%	4	8%	5	10%
圏 域 別	岩国	72	67	93%	2	3%	2	3%	1	1%
	柳井	54	50	93%	1	2%	0	0%	3	6%
	周南	98	89	91%	2	2%	2	2%	5	5%
	山口・防府	146	131	90%	5	3%	9	6%	1	1%
	宇部・小野田	132	109	83%	7	5%	7	5%	9	7%
	下関	99	90	91%	2	2%	5	5%	2	2%
	長門	81	73	90%	1	1%	3	4%	4	5%
	萩	70	65	93%	0	0%	2	3%	3	4%
	無回答	61	50	82%	2	3%	5	8%	4	7%

Q11 「2 継続しない方がよい」、「3 わからない」に をされた方は、
下記にその理由をお答えください。

項目		具体的な意見	継続しない 方がよい	わからない
大項目	中項目		2	19
林業構造	林業構造の改革	林業・木材産業の立て直しをしないと無駄である。	1	0
行政施策	過去の行政施策	過去の施策から現状に至るまでの原因を調査すべき。	0	1
行財政改革	行財政改革	他の予算（税）で実施すべきである。	0	4
事業執行	個人財産への投資	私有林を整備することに税を使うのは疑問である。 私有林を整備の場合、負担金を徴収すべき。	0	3
	天然林の整備	人工林と竹林対策だけでなく、天然林の整備・活用をすること。	0	1
	事業採択	自分の居住地では実施されていない。	0	1
	事業内容	森林に直接関係（影響）ない人を、森林整備へ参加させるための経費に使用すべき。	1	2
周知	周知・情報不足	身近に公表されておらず、内容が不透明である。 事業内容、事業費の内容をわかりやすくすること。	0	3
効果	効果不足 （判断不可）	5年間の効果では判断できない。 5年間の効果、検証方法が適正であるか疑問。	0	4

Q12 現在、取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合に、引き続き実施すべきと思う事業はどれですか。

【意見交換会】



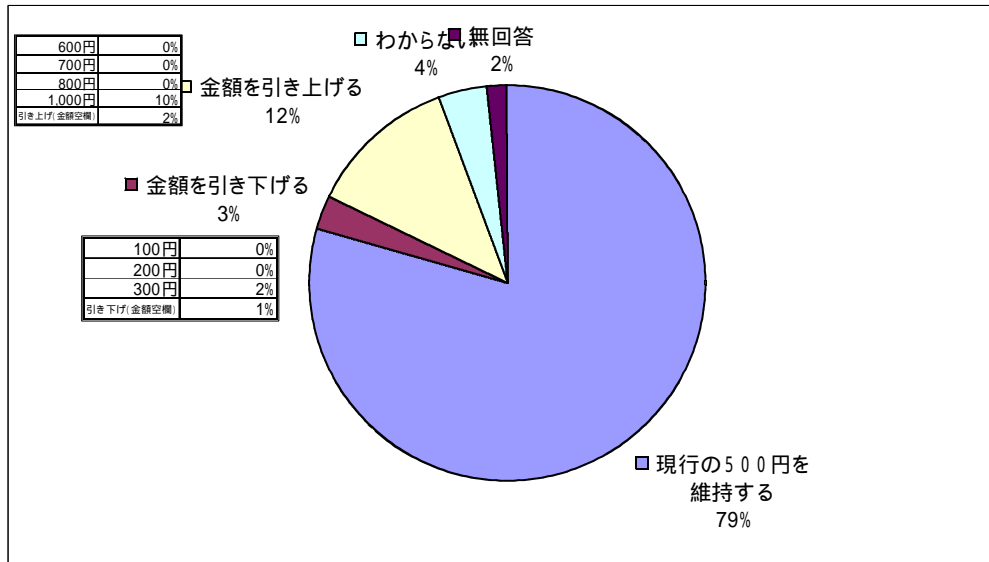
「やまぐち森林づくり県民税」の制度を「継続した方がよい」と回答した人のうち、87人が「竹繁茂防止緊急対策事業」、また80人が「公益森林整備緊急対策事業」を引き続き実施すべきと回答している。

Q13 制度を継続した場合に、現行事業以外に取り組んだ方が良くと考えられる事業がありますか。

項目		具体的な意見	件数
大項目	中項目		
健全で多様な森林づくり (既存事業の拡充)	公益森林の整備	カズラ等のつる類を除去する取り組みが必要である。 不在村森林を整備する手法を検討する必要がある。 荒廃森林を県が買収(借り上げ)し、整備・管理。 森林整備事業の補助残の充当。(所有者負担の軽減) 既存事業の採択要件等の緩和 対象年齢の拡大 現場状況に合わせた間伐率の検討 面積などの採択要件の緩和	19
	竹林繁茂対策	竹林面積は拡大しており、整備量の増大を要望する。 伐採跡地の植林。 県道周辺の竹繁茂対策 所有者自らが実施した竹林整備(伐採)への支援。 採択要件の緩和	12
	やすらぎの森	県民の森整備	2
	海岸林整備	海岸線の清掃等事業	2
健全で多様な森林づくり (新規)	広葉樹林の整備	広葉樹林の抜き切りなどの整備。 広葉樹の植林。 山地、農地の境界に生い茂った雑木、竹林の整備。 主要河川の河畔域での広葉樹林の整備。	15
	里山整備	景観も考慮した里山の機能回復及び保全活動	4
	耕作放棄地対策	休耕田の耕作放棄地へ植林し、整備・管理する。	2
	簡易道の整備	森林までの林道、作業道、山道(登山道)の整備 林道などの維持管理	17
	鳥獣被害対策	イノシシ、シカなどの鳥獣被害対策 狩猟関係者の育成・補助	16
	その他	伐採跡地、未立木地での植林。 吸収源対策 気象的被害地の再生 松林の整備(松茸山の再生) 保安林の機能強化対策 花粉の少ない品種で森林整備を進めていく。 花粉症減少のための、スギ・ヒノキの伐採(間伐)の推進への取り組み。 被害木の駆除・除去 森林パトロールなどの巡視活動を通じて、違法伐採、ゴミ投棄対策を実施する。	39
県民との協働による森林づくり	森林環境教育	森林の大切さを学ぶ機会(教育・体験)をつくる。(一般県民や学生も対象)	4
	周知活動	県民参加型のイベント等を開催し周知する。 テレビ等メディアを利用した定期的な周知活動。 教育現場での周知活動を実施する。	4
	森林づくりの支援	ボランティアを活用し、森林再生への活動支援。 ボランティア団体に対する支援・養成 県民が参加できる事業の創設。 企業による森林づくり活動を支援する。	31
森林・林業全般	森林資源の利用	間伐材・竹の利用促進。 県未税事業地で伐採した木(竹)を利用する事業の実施。 (ベンチ、遊具、バイオマス利用、竹家具など) 伐採木を利用した場合の補助制度の創設。	25
	担い手対策	森林整備に不可欠な林業従事者、後継者の育成・支援 林研グループなどへの活動支援	7
	試験研究	竹の成長抑制を促す品種改良及び繁茂対策 間伐材(竹材)の利用を目的とした商品開発、エネルギー開発(バイオエタノールなど)	10
	その他	雇用促進を図るための雇用の場を提供する。 森・川・海の連帯協働活動	4

Q14 「やまぐち森林づくり県民税」を今後も継続する場合、どの程度の負担が適当と思いますか。

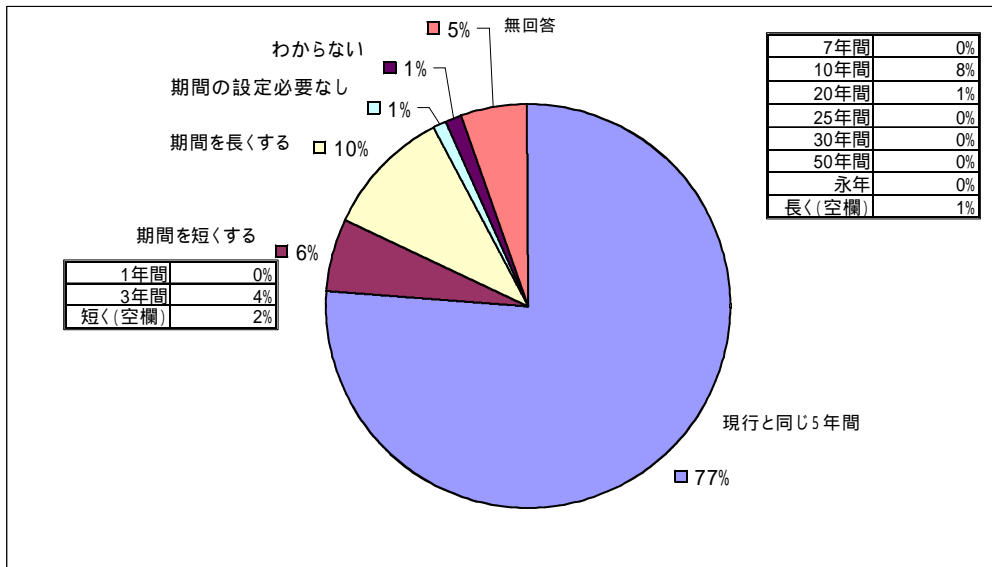
【意見交換会】



「やまぐち森林づくり県民税」を今後も継続する場合の負担額について、79%が「現行の負担額を維持」と回答している。

Q15 現行の「やまぐち森林づくり県民税」は5年間の期間を設定しました。制度を継続した場合、山口県は、一定の期間で実施し、効果を検証して見直したいと考えていますが、あなたはどのように思いますか。

【意見交換会】



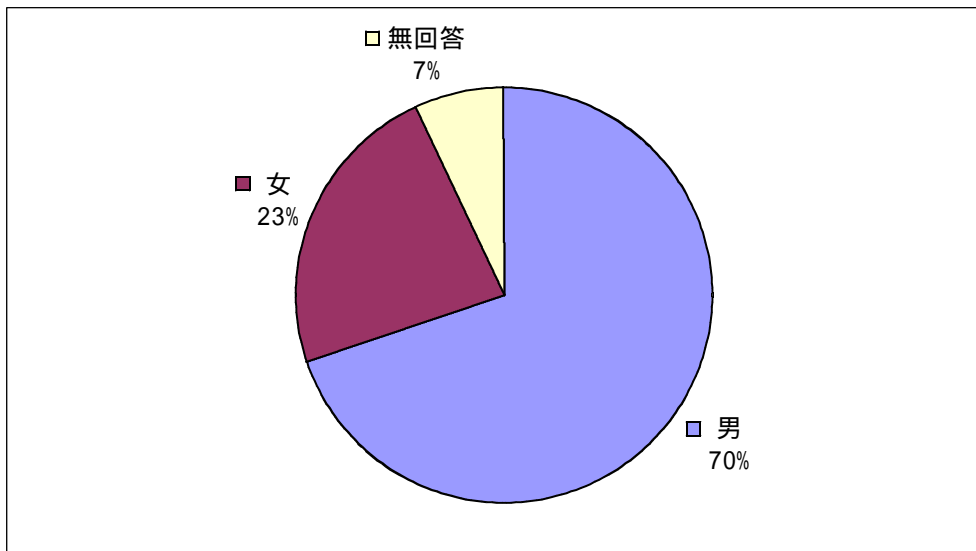
「やまぐち森林づくり県民税」を今後も継続する場合の期間について、77%が、「5年間で実施し効果を検証して見直す」と回答している。

Q16 その他、やまぐち森林づくり県民税制度について、ご意見・ご要望
などがありましたら、ご記入ください。

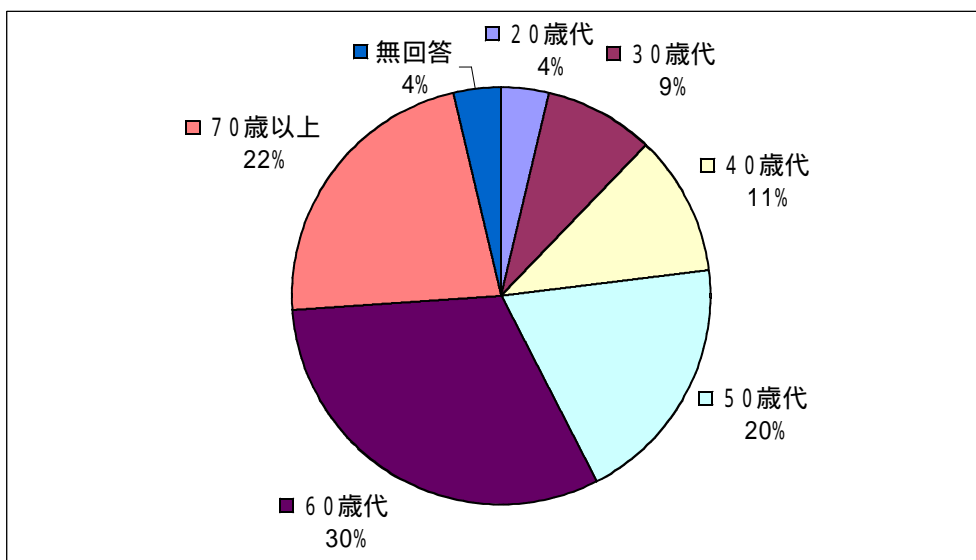
項目		具体的な意見	件数
大項目	中項目		
			219
林業構造	林業構造の改革	県産材が消費され収益に繋がるような林業構造づくりが必要。 地場産業の振興や木材需要の拡大が必要。	8
長期展望		中長期的なビジョンがあると税額などとの関連がわかりやすい。	1
税制度	制度	森林づくりは大切なことで、大変よい制度だと思う。	2
	継続賛成	5年間の取り組みの効果もあり、これからも継続してほしい。 税事業は、子や孫、未来のため大切な事業である。	21
	納税方法等	所得割として年収や売上げに応じて徴収してほしい。 大企業からの負担を多くしたらよい。	5
事業執行	効果的・効率的	多くの県民に効果が及ぶような取り組みが必要。 事業の対象となる森林の選定基準を明確にすべき。 税の用途をもっと明確にして欲しい。 整備が必要な森林、竹林の整備に、あと何箇年税を徴収する必要があるのか。 不公平のない税の使い方をしたい。 県内全域に事業効果が及ぶことを期待します。特定の地域に偏っているのではないかと。 対象森林の整備に当たっては、山林所有者の希望も取り入れてもらいたい。	39
	個人財産への投資	個人財産に税金を使うことは理解できない。	3
	荒廃森林の整備	重点的に実施してほしい。 事業地の20年後の見通しなど、先を見越した制度の進め方の検討 広葉樹の植林。 所有者の了解が得られやすいよう、制限の緩和。 県民税を使って、間伐事業の負担軽減を図って欲しい。 対象森林の年齢引き下げ。 間伐率の検討 20年間の協定期間を短くして欲しい。 20年生以下の人工林でも手入れがされないのなら税で整備すべき。	29
	竹林繁茂対策	竹繁茂の解消 竹繁茂防止対策を急ぐ、継続して欲しい。 竹の伐採は、1期(最初の5年間)にし、その後はボランティアの活用を考えべき。 竹の伐採は、学校、病院等公益性のある場所、施設周辺を重点に 竹は伐採後3年で再生するので継続的に施策が必要。 竹を伐採した跡地対策が必要。 竹林の整備は継続する必要があり、期間の設定は必要ない。 竹林整備の年間事業計画が少ないのでは。今後の計画見込みは。 里山が荒廃し生活ができなくなる状況になり、竹に追い出されて行くことになりはしないか。農地も一体に考えべき。 民有地だけでなく、公有地も事業対象として欲しい。 竹の伐採は、場所によっては10年ぐらい続けないと根絶が難しい。 竹林整備の計画的な整備内容の検討を。 再生竹の除去の延長。	23
	やすらぎの森整備	ミニ森林公園は必要ない。	1
	他分野との連携	農業分野、土木分野や、民間との連携が必要。	4
事業評価		機能別評価は一つの算出基準であって、効果が5年間では判然としな い。最後まで実行すること。	1
周知	周知活動	一般県民に向けて、一層の広報や周知活動の工夫を。 事業実施状況をもっとマスコミ等を使いPRする必要がある。 県のHPでも整備の状況等分かりやすく知らせて欲しい。 森林組合と森林作業者の支援、確保。 森林整備に不可欠な林業従事者、後継者の育成・支援 林家をもっと支援すべき。	64
担い手対策		年間を通しての事業展開で雇用対策もお願いしたい。	1
意見交換会		意見交換会の説明でとてもよく理解できた。 周知と理解する上で多数の参加で良かった。 意見交換会を開かれた県政としてもっとやって欲しい。 事業費の収支をもっとわかりやすく。	6
その他		公益森林整備事業の名称を森林荒廃対策税に変更を。 水の確保等、豊かな環境対策をすべき。 黄砂がひどくなり、中国ではもっともっと植林が必要と感じている。	11

Q 17 参考 (属性)

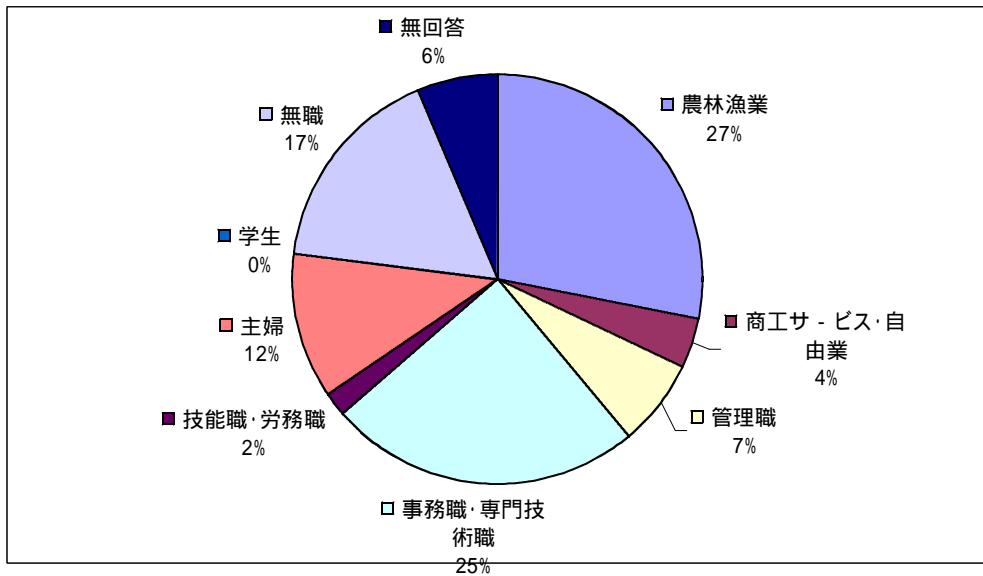
1 性別



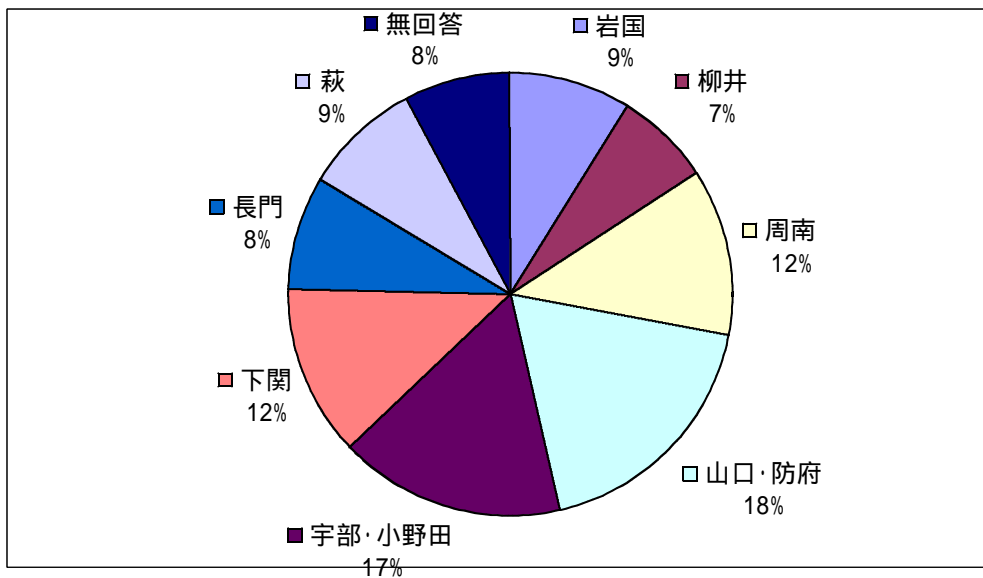
2 年代別



3 職業別



4 圏域別



調查票

やまぐち森林づくり県民税アンケート調査

本日は意見交換会にご参加いただきありがとうございました。

あなたの感想やご意見をお聞かせください。

《回答についてのお願い》

回答は、各質問項目ごとに、該当する番号を でお囲みください。また、必要に応じて、ご意見等をご記入してください。

Q 1 本日の意見交換会の内容はいかがでしたか。

- 1 興味深かった。
(どこがよかったですか：)
- 2 物足りなかった。
(何が足りませんでしたか：)
- 3 その他
()

Q 2 あなたは、森林が豊かな水やきれいな空気、災害から県土を守る機能、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収などの役割（これらを総称して「森林の持つ多面的な機能」とよばれています）を果たしていることを、本日の意見交換会に参加される前から知っていましたか。

- 1 よく知っていた。
- 2 少しは知っていた。
- 3 知らなかった。

Q 3 森林は、豊かな自然、県民のくらしや産業を支える大きな役割を果たしていると思いますか。

- 1 思う。
- 2 思わない。
- 3 わからない。

Q 4 あなたは県土面積の7割を超える森林の中で、スギやヒノキの人工林が荒廃し、森林の持っている多面的な機能が発揮されにくくなっていること、また、生い茂った竹林によって生活面での支障が生じていることを、本日の意見交換会に参加される前から知っていますか。

- 1 よく知っている。
- 2 少しは知っている。
- 3 知らない。

Q 5 荒廃した森林や生い茂った竹林などを整備して、将来に向けて豊かな森林を引き継いでいくことが必要と思いますか。

- 1 思う。
- 2 思わない。
- 3 わからない。

Q 6 山口県では、荒廃した森林を再生することを目的とした「やまぐち森林づくり県民税」が導入されていますが、この制度のことを、本日の意見交換会に参加される前から知っていましたか。

- 1 よく知っている。
- 2 少しは知っている。
- 3 知らない。

Q 7 本日、森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための事業をご説明しましたが、あなたは、このような取り組みが進められていることを、本日の意見交換会に参加される前から知っていましたか。

- 1 よく知っている。
- 2 少しは知っている。
- 3 知らない。

Q 8 森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための取り組みをどのように思いますか。

- 1 必要だと思う。
- 2 必要ではない。
- 3 わからない。

Q 9 本日、森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための事業の効果をご説明しましたが、あなたは、県民税関連事業の実施は効果があったと思いますか。

- 1 効果がある。
- 2 効果がない。
- 3 わからない。

Q10 荒廃した人工林や生い茂った竹林がまだ多くあります。山口県は、効果が大きい森林づくり県民税制度を継続して森林の再生を続けたいと考えていますが、あなたはこの取り組みをどのように思いますか。

- 1 継続した方がよい。(Q11以降の質問にお答えください。)
- 2 継続しない方がよい。(Q15の質問にお答えください。)
- 3 わからない。(Q15の質問にお答えください。)

また、Q10で、「2 継続しない方がよい」、「3 わからない」に をされた方は、下記にその理由をお答えください。

Q11 現在、取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合に、引き続き実施すべきと思う事業はどれですか（実施すべきと考える事業に全てをつけてください。）

- 1 公益森林整備事業（荒廃したスギやヒノキの人工林の再生）
- 2 竹繁茂防止緊急対策事業（生い茂った竹林の整備）
- 3 やすらぎの森整備事業（身近に森林にふれあえるミニ森林公園の整備）
- 4 魚つき保安林等海岸林整備事業（松くい虫や台風などの被害によって荒れた海岸林の整備）
- 5 周知活動（森林づくりフェスタなど豊かな森林づくりのための周知活動）

Q12 制度を継続した場合に、Q11に掲げる事業以外に取り組んだ方が良いと考えられる事業がありますか。

Q13 「やまぐち森林づくり県民税」は、個人は一人当たり年間500円を負担していただいています。今後も継続する場合、どの程度の負担が適当だと思いますか。

- 1 現行の500円を維持する。
- 2 金額を引き下げる（ 円）。
- 3 金額を引き上げる（ 円）。
- 4 わからない。

Q14 現行の「やまぐち森林づくり県民税」は5年間の期間を設定して実施しました。制度を継続した場合、山口県は、一定の期間で実施し、効果を検証して見直したいと考えていますが、あなたはどのように思いますか。

- 1 同じように5年間の期間で実施して、効果を検証して再度の見直しをする。
- 2 期間を短く（あなたの考える期間； 年間）して、効果の検証をして、再度の見直しをする。
- 3 期間を長く（あなたの考える期間； 年間）して、効果の検証をして、再度の見直しをする。
- 4 期間の設定も、見直しも必要ない。
- 5 わからない。

Q15 その他、やまぐち森林づくり県民税制度について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください。

最後に、アンケートにご回答いただきましたご自身についてお尋ねします。

性別	1	男性	2	女性		
年齢	1	20歳代	2	30歳代	3	40歳代
	4	50歳代	5	60歳代	6	70歳以上
ご職業	1	農林漁業（家族従事者を含む）				
	2	商工サ - ビス・自由業（家族従事者を含む）				
	3	管理職				
	4	事務職・専門技術職（事務員、技師、研究など）				
	5	技能職・労務職（工員、店員、消防士、運転士など）				
	6	主婦				
	7	学生				
	8	無職				
あなたの住んでいる市町 （ ）市・町						

《ご協力ありがとうございました。》

このアンケート用紙は、お帰りの際、会場出口付近のアンケート用紙回収箱にご提出ください。